

RED PLANET

www.redplanet-jp.com



「ビート」リットマン フォーエバー」のザガル・キルマーと「マトリックス」のキャメロン・モズが主演する「リット プラネット」は、ナイキ、パトワグー、ホーランド、アメリカン航空、マリボロなどのTVコマーシャルを手がけ、その未来的な感覚と革新的な手法で絶賛され、カンヌ映画祭金獅子賞をはじめ、あらゆる賞を総なめにしたCM界の男チーフ、アムニー・ホフマンの初監督作。あの「マトリックス」の又スワックが特殊効果を担当し、これまでのSF映画とはまったく違う、ヌタイルッシュで斬新な映像が生まれた。「マトリックス」で一躍スターとなり、次にどんな作品に出演するのかが注目されていた。キャメロン・モズが、数多くのオファーの中から斬新な監督の作品を選んでことも話したが、

2050年、地球環境の破壊は加速度的に進行中。120億の人間が暮らすのは、狭き道。リットマン、ジョン・キューザックの火星。そして洞窟や木の種。カエルなども住まなくなつたこの惑星で、次に絶滅するのは、たぶん——人類。残された希望は、古代ギリシアの人々が「戦いの星」と呼んだ、小さな赤い惑星だけ。

火星。太陽から4番目の惑星。そこには、太陽系でもっとも巨大な楕円状火山がある。はるか昔、その地表に水が流れていた頃に形成された複雑な水路のネットワークがある。地球とまったく同じ環境を持つ星。人々は考えた。移住するなら、ここしかない。この星を「地球化」する以外、人類が生き延びる道はない。

火星地球化計画。

リット プラネット

「リットマン フォーエバー」のザガル・キルマー
「マトリックス」のキャメロン・モズ

そして宇宙船は旅立つた。6人のクルーを乗せて。太陽のプロテクトの放射線に強い損傷を避けるためには、火星に降り立った彼らが運んだのは、自じられない状況だった。なぜ、火星に空気があるのか？ なぜ、ロボットが意思を持ち、人間を殺そうとするのか？ 人類滅亡のタイムリミットが迫る中、想像を絶する恐怖とパニックカンパニーたちを襲う――



新時代の女性像を鮮烈に提示する現代のミュージック、キャメロン・モズ。カウコよすぎる映像で1世代の映画界に革命を起す男、アムニー・ホフマン。そして「マトリックス」を超える前人未踏の映像世界を作り上げた特殊効果チーム。彼らの興業、サスヘンズ、カタルシス、感動——これらすべては、これまでの映画にもあった。リット プラネット」だけが与えてくれるもの。それは、映像によって世界観そのものが組み換えられる体験。映画の定義を疑える映画が、ここに生まれた。

2000年7月公開 原簿 RED PLANET / パリスズ 新田文雄 監督: リットマン・プラネット映画







